



ヨゼフ アベイヤ 司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 浦川 務
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

4月の意向

【教皇の意向】 危機に瀕する司祭
【日本の教会】 すべての人の召命
【教皇の意向のために祈りましょう】

復活祭・暗闇の中の光

教皇フランシスコの「復活祭メッセージ」を思い出して

ヨゼフ・アベイヤ司教（福岡教区長）

主の復活の喜びを申し上げます。暗闇に包まれている現代世界に光が輝きました。多くの人々がこの光に導かれ、いのちを尊ぶ新たな歩みを迎える決意を新たにしますように。



画：Mino Cerezo 神父（クラレチアン宣教会）

復活祭の光

福音書によると、「朝早く、まだ暗いうちに」マグダラのマリアと仲間たちはイエスの墓に向いていきました。ただ、闇に包まれていたのは、エルサレムだけではなく、心もそうでした。そしてそれ

「3日目に復活する」と述べ、確かに、イエスは何回も、

復活祭は、神の愛の証明であるとともに、いのちの祝いであり、人間の尊厳の祝いである。戦争の闇に包まれている現代世界において、復活祭の光は歩むべき道を示し、諦めずにその道を歩むように私たちを力づけます。

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」

「真の軍縮なしに平和はありません」

「政治的責任をもつ世界のすべての人々に呼びかけます。閉ざされた恐怖の論理に屈しないでください。むしろ、困窮した人を助け、飢餓と戦い、発展促進の取り組みを促すた

4月13日（月）
司教座聖堂（カテドラル大名町教会）
献堂記念日
教区司教が典礼を司式するとき座る椅子を司教座（カテドラル）と言います。司教座聖堂は教区の母聖堂であることと超えて、司教と共に全教区民が集うところであり、その献堂記念日は教区の祝日です。

現聖堂は1986年4月13日に献堂されました。福岡教区の神の民の発展のため心を合わせて祈りましょう。
今年は4月12日（日）が「カテドラル特別献金日」です。福岡教区の宣教活動の要であるカテドラルの維持管理のための献金をお願いいたします。

熊本地震から10年
2016年4月14日、16日に熊本・大分地方を襲った地震から10年が経ちます。今もなお悲しみ、苦しみ、不安のうちに生活を送られる方のために祈りましょう。また、多くの支援や繋がりに心より感謝いたします。（福岡教区災害被災者支援室）

復活祭には毎年、教皇が世界に向かつてメッセージを発表されます。教皇フランシスコは、今年の復活祭の日に天に召されたのです。復活祭のメッセージは、全世界に向けた彼の最後のことばとなりました。ここに思

い起こしたいと思えます。「エルサレムの空の墓から、聞いたことのない知らせが届きます。十字架につけられたイエスは、『ここにはおられない。復活なさったのだ』（ルカ24・6）。イエスは墓にはおられず、生きておられます。愛は憎しみに打ち勝ちました。光は闇に打ち勝ちました。真理は偽りに打ち勝ちました。ゆるしは復讐に打ち勝ちました。悪はわたしたちの歴史から消えています。悪は最後までどまらず。しかし、悪はもはや支配していません。悪は、今日の恵みを受け入れた人々には力をもちません」

「キリストは復活されました。この知らせの中に、わたしたちの人生の意味全体が含まれています。わたしたちの人生は、死のためではなく、いのちのために造られたからです。復活祭はいのちの祭りです」

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」

「真の軍縮なしに平和はありません」

「政治的責任をもつ世界のすべての人々に呼びかけます。閉ざされた恐怖の論理に屈しないでください。むしろ、困窮した人を助け、飢餓と戦い、発展促進の取り組みを促すた

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」

「真の軍縮なしに平和はありません」

「政治的責任をもつ世界のすべての人々に呼びかけます。閉ざされた恐怖の論理に屈しないでください。むしろ、困窮した人を助け、飢餓と戦い、発展促進の取り組みを促すた

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」

「真の軍縮なしに平和はありません」

「政治的責任をもつ世界のすべての人々に呼びかけます。閉ざされた恐怖の論理に屈しないでください。むしろ、困窮した人を助け、飢餓と戦い、発展促進の取り組みを促すた

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」

中学生、高校生にとつて4月は緊張感が強い時期です。進学、進級して新しい環境になり、不安と期待が入り混じった時期だからです。もちろん新しいことにチャレンジしたいとワクワクしている人もいます。しかし、特に不安な感じが強いように感じます。新しい学校やクラスに馴染めるか、友だちはできるか、一人ぼっちにならないか。心配し不安を抱

える生徒が多くいます。そうした不安を抱えた生徒たちに、何を伝えたら良いのか悩みます。聖書の中にも不安と期待の狭間に立たされた人たちがいます。イエスの受難という出来事は弟子たちにとって不安の経験でした。師であるイエスの逮捕と十字架での死。残された弟子たちにとって、イエスの生活や活動が破綻した時でした。しかし神はキリストを復活させられ、その主が弟子たちの前に現れました。彼らに希望が灯った瞬間です。そこから全く新しい現実が広がっていきました。

また聖書において受難の出来事が起きたとされるユダヤ教の過越祭も、元をたどれば

不安と期待の出来事です。エジプトで隷属状態にあったイスラエルの民はモーセによって導き出されました。彼らは出発前夜、不安と期待の中にいたはずですが、彼らはモーセが示す神の希望に導かれエジプトを脱出しました。希望は伝えるだけでなく、実感してもらわないと意味がありません。どうしたら良いか。それはきっと復活したキリストが私たちと共にいてくださるよう

時の話題

希望の実感

不安な感じが強いように感じます。新しい学校やクラスに馴染めるか、友だちはできるか、一人ぼっちにならないか。心配し不安を抱

える生徒が多くいます。そうした不安を抱えた生徒たちに、何を伝えたら良いのか悩みます。聖書の中にも不安と期待の狭間に立たされた人たちがいます。イエスの受難という出来事は弟子たちにとって不安の経験でした。師であるイエスの逮捕と十字架での死。残された弟子たちにとって、イエスの生活や活動が破綻した時でした。しかし神はキリストを復活させられ、その主が弟子たちの前に現れました。彼らに希望が灯った瞬間です。そこから全く新しい現実が広がっていきました。

また聖書において受難の出来事が起きたとされるユダヤ教の過越祭も、元をたどれば

不安と期待の出来事です。エジプトで隷属状態にあったイスラエルの民はモーセによって導き出されました。彼らは出発前夜、不安と期待の中にいたはずですが、彼らはモーセが示す神の希望に導かれエジプトを脱出しました。希望は伝えるだけでなく、実感してもらわないと意味がありません。どうしたら良いか。それはきっと復活したキリストが私たちと共にいてくださるよう

全国シノドス担当者研修会
シノドスの教会を共につくる



霊における会話を実践

2月24、25日大名町教会を会場に研修会が開催され

研修会は「みんなでつくるシノドスの教会」をテーマに、①「霊における会話」を通じて実践しているシノドスの歩みに気づく、②「ともに歩む」ために大切な取り組みを見つけていく、③手引書の内容を検討する、ことを目的として行われた。初日はあらかじめ決められ

研修会 Sr.荻野富子

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」

「真の軍縮なしに平和はありません」

「政治的責任をもつ世界のすべての人々に呼びかけます。閉ざされた恐怖の論理に屈しないでください。むしろ、困窮した人を助け、飢餓と戦い、発展促進の取り組みを促すた

「今日、わたしは、希望と他者への信頼を新たにしたいと思えます。近くにいる人も、習慣、生き方、思想、見慣れないさまさまな服装を携えて遠くから来る人も含めて。なぜなら、わたしたちは皆、神の子だからです。わたしは、平和が可能であるという希望を新たにしたいと思えます」



神父は、街で見かけた見覚えのある女性をたずね歩き、やがて破壊された教会の瓦礫の中に倒れ伏してしまふ。そこで優しさにあふれ、なにもにもゆらぐことのない声を聴く――絵本『ゆりの花がさいていた』の一節である▼人は学び、伝える生き物だ。そうやって叡知を積み重ね、蓄えて、この世界を築き上げてきた。長い時の流れを生き延びた私たちは何を学び、何を伝え、そしていま何を残そうと

福岡教区創立 100 周年に向けて

2027年7月16日、福岡教区は創立100周年を迎えます。教区報では、各小教区や団体、司祭・修道者、信徒が100周年に向け取り組んでいること、100周年への想いなどを募集。こちらで紹介していきます。「創立100周年」の情報は右記QRコードからご覧になれます。



堤神父の思い出 人吉教会 下田 和弘

どんぐりのようなグリっとした眼を突き出し、「そげんじゃろ、ん？」と、次の瞬間、にこっと微笑む。こっちは完全に引き寄せられてしまう。カトリック茶山教会第6代主任司祭・堤要吉神父は長崎の稲佐山という小高い山の麓にある飽の浦（あくのうら）教会出身。子どもの時はその山の中で悪童たちと走り回っておられたという。その勢いのまま、小神学校、大神学校に入られたとのこと。大神学校では優秀な学生が多く、「自分の成績は悪かったが何とか神父になれてのう」とにっこり。堤神父はとにかく豪快な人だった。神父らしくない神父だった、とでも言えようか。普段はいつも葉巻を離さず、あの葉巻独特の匂いをさせていた。糖尿病に罹ってからはアルコールは口にされず、専ら写真を撮ることを楽しみにしておられた。いつの教会のバザーだったろうか、抽せん券の特賞に、自身の高級なカメラのセットをポンと出されたこともあった。我々信徒は目の色が異常に輝いてしまった。長崎出身であることに神父は誇りを持たれていた。我々数人を引き連れて外海（そとめ/当時長崎県西彼杵郡（にしそのぎぐん））を巡礼された際は、特殊レンガで造られた大野教会を「こっちゃん人はこれは『おおの』じゃのうて、『ううの』て言うのう」と、胸を張って語られた姿は小さい頃の悪童そのものだった。

100周年準備企画 分かち合い劇「ヨブ記～K氏の場合」



エンディングで「希望の巡礼者」を参加者とともに歌う演者たち

—黙想と感謝の一日—

四旬節を迎えて間もない2026年2月23日(月・祝)、13時より、カトリック大名町教会大聖堂において、福岡教区創立100周年準備企画・信徒による分かち合い劇「ヨブ記～K氏の場合～」が上演された。病を得た一人の信徒の苦悩を縦糸に、『ヨブ記』のテーマをめぐる複数の信徒たちによる二つの分かち合いを横糸に織りなされた劇である。14時30分からはアベイヤ司教の司式による感謝ミサが捧げられた。キャスト、スタッフ、司祭を含めた当日の参加者は約270人。終演後の分かち合い用紙にも計115の方が、それぞれの『ヨブ記』への思いを記して下さった。作者が現実には膵臓がんを告知され、余命宣告を受けた中で書き上げたという特別な背景を持つ脚本を、いずれも演劇のプロではない出演者12人と演出家が台詞と向き合い、祈りに支えられながら、60分間の劇に作り上げた。感謝ミサの説教の初めに、「皆さんが神の言葉を伝える道具となってくれたことに感謝します」と司教様が述べられた。劇の間、たしかに聖霊が働いていたように感じている。なにかしら悩みや苦しみを抱えている私たち一人一人が、「苦しみの先にある希望」という劇のメッセージを受け取って自身の信仰生活を見つめ直す、意義深い催しとなった。なお、劇への献金額は135,513円で教区に、また、ミサ献金82,131円は、全額を大名町教会にそれぞれお渡ししたことをお礼とともにご報告申し上げます。教区創立100周年行事専門委員会 協力者 辻部大介(笹丘教会)



指導中の西脇教授

2月22日から3週連続で旧カトリック神学院にて、西南学院大学 西脇純教授を講師に迎え、聖週間の典礼と聖歌を学ぶ研修会が行われた。3日間ともに、最初の1時間間は聖週間についての座学があり、その後、1時間間は聖歌を歌うという2時間の研修内容であった。座学では、枝の主日に始まる聖週間の内容とその意味の解説があり、知っていることとはい

聖週間の典礼を学ぼう！

教区典礼委員会

中でも留意すべきことは、ミサと集会祭儀はまったく異なるという意識だ。このことにおいて、講師は随所で言葉を変えて指導する。一部の例を挙げれば、「司会者は基本的に内陣の外に席を設ける」「ミサと集会祭儀を明確に区



ステージ上の仮祭壇で所作を説明する十時神父

司祭不在の時の集会祭儀司会者養成講座 最終回 祈りを導く奉仕者を養成

2月15日、「第4回集会祭儀司会者養成講座」が大名町教会で開講され、これをもって本講座は最終回を迎えた。今回は十時伸治神父(教区事務局長・西新教会主任)が講師を務め、実際の集会祭儀の進め方や注意すべきことに特化した実践的な内容となった。司祭不在の時の集会祭儀司会者養成講座 最終回 祈りを導く奉仕者を養成

2月28日、カトリック大名町教会1階講堂で「カトリック教会はなぜ死刑廃止を目指すのか」(主催福岡教区社会福音化委員会 正義と平和・人権部門)をテーマにセミナーが開催された。講師は柳川朋毅氏(イエズス会社会司牧センター職員)。参加者は50人を超え、カトリックの信者以外にも、プロテスタントの方や他宗教の方の参加も見られた。



説明をする講師の柳川氏(左)

「カトリック教会はなぜ死刑廃止を目指すのか」

2月28日、カトリック大名町教会1階講堂で「カトリック教会はなぜ死刑廃止を目指すのか」(主催福岡教区社会福音化委員会 正義と平和・人権部門)をテーマにセミナーが開催された。講師は柳川朋毅氏(イエズス会社会司牧センター職員)。参加者は50人を超え、カトリックの信者以外にも、プロテスタントの方や他宗教の方の参加も見られた。開会あいさつの中でアベイヤ司教は、「カテキズム」に示されているカトリックの死刑に対する考えを話された。講師の柳川氏は、まず「死刑を止めよう」と宗教者ネットワーク代表者としてのこれまでの活動や体験を語るとも、改めて聖週間の重要性を確認した。特に聖木曜日からは始まる聖なる3日間は、復活の聖なる徹夜祭までが大きな一つの祭儀であることを学んだ。洗足式、十字架礼拝などの意味をラテン語に基づきながら解説されたことにより、改めて典礼の奥深さや豊かさを確認することができた。そのような座学の後に、聖堂へ移動しての聖歌の練習は、意義深いものがあった。特に、故高田三郎氏(作曲家・指揮者)による典礼聖歌の構成を解説していただき、どのような歌うことが大切なのかを学ぶことができた。

柳川氏の講演後には、冤罪事件の発端がなされた。飯塚事件について澤田愛子さん、狭山事件について北原大樹さん、袴田事件について増井玲子さん、福岡事件について青木篤孝より、それぞれ説明が行われ、質疑応答の後、閉会となった。参加者からは、「ほとんど知らなかったカトリックの動きを聞いて良かった」「分かりやすかった。高校生など学生向けにも話す場があれば」「今日学んだことを基に死刑廃止に『○』を付けられるようにしたい」など多数の感想が寄せられていた。

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
TEL.830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
TEL.830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
株式会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る
株式会社
みこころ舎
旧カトリック神学院 旧修道院内
問合せ
050-3032-1333

「わたしはここです」 荘厳誓願式の喜びの日に

2026年2月13日、青空が広がる美しく暖かな日を迎えた。週の初めには大雪が降り、皆で雪かきをするほどだったのに。

12年前のこの日、姉妹 Sr. カリタス ファム・ティ・センは志願者としてベトナムからシトー会伊万里の聖母修道院へ来た。日本語の勉強を始め、長い道のりを歩み始めた。愛する家族がいるベトナムに帰りたいことも、心が折れそうになることもあった。しかし、姉妹 Sr. カリタス はいつも不思議なことに、「わたしはここです」と確信を持っていた。

シトー会では、聖ベネディクトの戒律に従い「従順」「定住」「回心の生活」の三つの誓願を宣立する。自分が呼ばれた場所を愛することは、シトー会の修道者の大きな特徴と言える。定住の誓願によってこそ呼ばれた土地で、神が出会わせてくださった姉妹たちと共に生き、愛することを学んでいくことができる。だから、シトー会の修道院は「愛の学び舎」とも呼ばれる。



三つの誓願を宣立し、最後に祝福を受ける Sr. カリタス

荘厳誓願式を司式して下さったアベイヤ司教様はホミリア(説教)の中で、イエス様と共に歩み、神様にいのちを捧げるようにと道を示して下さいました。この地で本当に豊かに生きるようにと祝福して下さいました。

この日、東京から、また広島、山口、福岡から、ベトナム人の神父様方とシスターが駆けつけて下さった。ひとりの若い姉妹のために、ベトナムの教会共同体が同伴し、力強く支えて下さっていると感じた心温まる一日であった。

Sr. マリーラファエラ 久保木洋子

カトリック老司教会創立50周年記念ミサが2月22日9時30分から、ヨゼフ・アベイヤ司教様、大山悟神父様(老司教会管理者)の司式のもと、



50年の歴史を振り返る記念ミサにあずかった皆さん

最後にご夫婦で「信徒会長や女性の会、子どもさんは侍者

ミサ後には、信徒会館で参加者の皆様とティーパーティーを実施しました。その中で、50年の歴史を語ってくださったMさんは、

老司教会50周年記念ミサ
マリアさまの恵みのもとで



歴史を歩む長崎巡礼

教区青少年委員会

執行聖名子

青い空と海を背にVサインをする青年たち

1月31日、2月1日に行われた長崎巡礼に参加した。全体を通して天気に恵まれた。1日目は武雄教会、日本二十六聖人乗船場跡、天正遣欧少年使節顕彰之像、日本二百五福者殉教顕彰碑、平和公園と、盛りだくさんの日程だった。

2日目の西坂殉教地は昨年参加した時にも訪れたが、それ以外の佐賀・長崎両県にある隠れキリシタンと殉教にまつわる

のお恵みに満ちた老司教会で、これからも福音宣教に微力ながら寄与していけるようにと、心を新たにされました。私事ですが、ミサで奏楽の奉仕をさせて頂きました。また、娘も侍者として、アベイヤ司教様や大山神父様のより近くで神様のお恵みを頂き、とても感謝しています。

城山教会にて、以前笹丘教会で司牧され、お世話になった神父様方に久しぶりにお会いできたことも、とても嬉しい出来事だった。また、参加者の半分近くが海外出身というインターナショナルな長崎



修了証明書を渡す櫻井神父

手取教会でカテキスタ養成講座修了式

巡礼だったこともあり、話題も笑いも、両方絶えない2日間を過ごすことができた。同じ地区から参加した仲間や神父様とシスター、今回

新たに会おうことができた方々、そして再会することができた方々への感謝を忘れずに過ごそうと感じた。 笹丘教会 栗原聡史

カテキスタ養成講座 受講修了証明書

3月1日、手取教会では「カテキスタ養成講座」の修了式が行われた。長年指導してきたカテキスタが今後の教会の方向を見据えて、後継者となるカテキスタを育てるのが目的で行われてきた。手取小教区では、毎年求道者を迎えるカテキズム、信仰入門講座、聖書講座を行うことで入信者が誕生してきた。

養成講座は2023年から3年かけて、次の教会を担う者を選び、カテキスタとしての基礎を習得することを主眼に実施。同時に講座の記録も残してきた。修了式に当たり主任司祭の櫻井尚明神父が、フランシスコ教皇

その後、選ばれた運営委員と12人の修了者が集い、5月から始まる新年度の活動に当たり、進め方、分担、さらなるステップアップなどについて意見交換が行われた。【カテキスタとは】 求道者や信徒に教理や聖書を教える専門的な養成を受けた者で、司祭の司牧を助け、洗礼の秘跡の準備から、信仰生活、子どもの宗教教育など生涯の育成に至るまで同伴者として奉仕する。第二バチカン公会議以降、福音宣教に不可欠との認識から教皇フランシスコが自発教令「アンティクウム・ミニステリウム(古来の職務)」を発表(2021年5月10日)し「信徒カテキスタ」という奉仕職を正式に制定した。 手取教会広報 小野豊和

私にとっての聖書朗読 山鹿教会 春木雄一朗

聖書朗読への憧れは、私の中で静かに、しかし確実に膨らんでいきました。2024年の復活祭に洗礼を受け、信徒となった喜びは私を満たしていました。しかし、同時に、視覚障害のある全盲の私にとって、朗読は「憧れのまた憧れ」でしかないのではないかという思いも湧き上がってきました。朗読は、私をまぶしく照らすのです。 そんな時、神父様の「聖書は単なる書物ではない。朗読は祈りである」という言葉が、私の心を捉えました。「私にもできるかもしれない」。

私は、この祈りを込めて聖書を読むこと、そして信徒の方々に心を込めて語りかけることを決意いたしました。まず思いついたのは朗読箇所を丸暗記することでした。しかし丸暗記したものをただ読み上げるだけでは、神への祈りとして、また語りかけとして、何か足りないという葛藤が生まれました。朗読台は遠のいていくばかりでした。私が所属する教会では主任司祭の神父様が、福音書を書き写すことを勤めています。全盲の私にとって、書き写す作業は困難を極めます。それでも、私は書き写すことにしました。一文字一文字を丁寧に書き写すことで、聖書の言葉が心に染み渡り、新たな発見や気づきがありました。なぜその日のミサでその福音の箇所が選ばれているのか、なぜ第1朗読では旧約のその箇所が選ばれているのか、詩篇、第2朗読の意味、神様からのメッセージとは何なのかと。

私が朗読を担当するのは不定期ですが、その際には必ず告解を受けるように心がけています。それは、神様の言葉を、私を通して会衆に届けるための責任だと考えているからです。 私は、こうして福音の光に導かれて、聖書の言葉を紡いでいくのです。目が見えなくても。



朗読をする春木氏

Advertisement for Nagasaki Spaghetti, featuring the logo and contact information for Sanfreed Dorosama Noodle Factory.

Advertisement for a book titled '赦し (Forgiveness)' by Richard M. McAleer, with a QR code and promotional text.

「QRコード」という名称はデンソーウェブの登録商標です。

年間目標 『未来に開かれた教会』となる

福岡教区創立 100 周年に向けて かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう

2027年7月16日まで あと 15ヶ月

2025年7月～2026年6月 テーマ：未来に開かれた教会となる

【教区創立100周年記念 教区報紙面投稿募集！】 これまでの歩みを振り返り、未来への想いを共有するため、皆さまからのエピソードやメッセージを広く募集いたします。

第1回募集期間 5月31日(日)まで テーマ：1. 私と福岡教区との出会い 2. 忘れられない司祭・先輩・仲間 3. あの頃の教会風景

応募先：E-mail: cdf-kouhou@nifty.com (郵送) 福岡市中央区浄水通6-28司教館・広報部

文章は400字程度を目安に。短い一言メッセージや、写真・イラスト+ひとこと、ちょっとした思い出話(100字～200字程度)でも大歓迎です。一緒に100周年を彩りましょう。

福岡教区の神学生紹介 神学生のためにどうぞお祈りください



ヨゼフ・ヴォ・タ・フォン 1996.8.28生



ベトナム・ビン教区出身 日本カトリック神学院(東京) 予科



ヨゼフ・グエン・グアン・ティ 2001.3.13生



ベトナム・バンメトート教区出身 ベトナム・ビン神学校 哲学科1年

※各QRコードから、彼らを紹介した過去記事をご覧いただけます。

聖パウロ修道会福岡修道院 閉院のお知らせ

長きに渡り、福岡教区で奉仕をしてくださっていた聖パウロ修道会福岡修道院は、4月30日(木)をもって閉院となります。これに伴い、サンパウロ福岡宣教センター(書店)も同日閉店となります。

尚、車両による「教会販売」等の活動は、引き続き実施されますのでどうぞご利用ください。

西原村 2026 棚田オーナー制度のご案内

2016年4月の熊本地震以来、つながり続けてきた西原村より今年も棚田オーナー制度の案内が届きました。一つの田んぼを舞台に、西原村の農家の方々と協力して、田植えやサツマイモ、落花生の作付けを行い、秋には収穫を体験する参加型、体験型のオーナー制度です。

※詳細は教区ホームページ、または右記QRコードからご確認ください。

主催・CLCエコロジカルチーム 「ラウダート・シの呼びかけにこたえて ～自然と共に祈る黙想会～」

[日 時] 2026年4月25日(土)から 2027年1月23日(土)までの全8回 10時～12時

[場 所] 大濠カトリック会館 [問合せ先] E-mail: clc.ecoteam8@gmail.com ※詳細はQRコードからご確認ください。

召命を共に祈る会

福岡地区 4月21日(火) 13時30分～ 大名町教会 [問合せ先] ☎090-6422-2257 (山口) 北九州地区 4月11日(土) 14時～ 小倉教会 ミサ 司式: ジョン・ウォンチョル神父(戸畑・若松教会) [問合せ先] ☎0949-24-9905 (藤井) 熊本地区 4月(日にち他未定) [問合せ先] ☎096-369-8896 (松上)

各種団体の定例会

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報4月号」、または右記QRコードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス https://fukuoka.catholic.jp E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板 会合と催し

4月のこよみ

主のご復活おめでとうございます

私は復活しあなたと共にいる。

ライブ配信のお知らせ

※QRコードからご視聴ください

【聖香油ミサ】 4月1日(水) 15時～ 【復活祭】 4月5日(日) 9時30分～

場所: カテドラル大名町教会 司式: ヨゼフ・アベイヤ司教(福岡教区長)



福岡教区ハンドブック 2026

「福岡教区ハンドブック2026」は、5月下旬に発送予定です。各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: 祈りの人々と出会う「主は御自分の親しい人に御旨を示される」(詩編25・14)

日 時: 4月9日(木) 10時～15時 内容: エリヤ: 沈黙の中で神に出会う人 「静かなささやきの声があった」 次回: 5月14日(木) 内容: ハンナ: 感謝に満ちた母 「私の心は主によって喜び踊る」

問い合わせ先: 真命山諸宗教対話センター

☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186

熊本県玉名郡和水町疇浦1391-7

E-mail shinmeizan@gmail.com

☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 【4月】 1日(水) 聖香油ミサ 大名町教会ミサ司式 2日(木) 聖木曜日(主の晩さんの夕べのミサ) 大名町教会ミサ司式 3日(金) 聖金曜日(主の受難の祭儀)(大斎・小斎) 大名町教会ミサ司式 聖地のための献金 4日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭) 大名町教会ミサ司式 5日(日) 復活の主日 大名町教会ミサ司式・堅信式 12日(日) 復活節第2主日(神のいつくしみの主日) カテドラル特別献金 鳥栖教会堅信式 19日(日) 復活節第3主日 美野島司牧センター スペイン語ミサ司式 100周年記念誌委員会(大名町教会) 25日(土) 福岡地区カトリック女性の会 総会 26日(日) 復活節第4主日 世界召命祈願の日 伊万里・多久教会司牧訪問 28日(火) 教区司祭評議会(司教館)

- 【5月】 3日(日) 復活節第5主日 武雄教会司牧訪問 10日(日) 復活節第6主日 佐賀教会司牧訪問 佐賀地区宣教司牧評議会主催・信徒研修会

■ゴシックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。



A Calling from God 神に呼ばれて Fr.Samith Sandaruwan (Democratic Socialist Republic of. Sri Lanka)

I would like to share my missionary calling as an Oblate. My vocation is a blessing from God: indeed, a gift and a mystery. The seed of the pure desire of becoming a priest was sown in me when I became an Altar Server. My parents gave me their consent to pursue it. The dedication and the commitment of the priests in my parish attracted me to the priesthood.



After graduating from high school, I cherished the desire to become an Oblate missionary, and God made that dream come true. I made my First Profession of Vows on 22nd August 2015 and Perpetual Oblation on 24th November 2022. I was ordained a priest on 9th September 2023 in Sri Lanka and belonging to the Province of Colombo received my First Obedience to the Province of Colombo - Japan - Korea Delegation.

In preparation to be sent to Japan as a missionary I was assigned to the Community of Preachers "Nazareth" at Wennappuwa. Undoubtedly, the pastoral experiences had in various places in Sri Lanka as a member of the Preaching Band, enhanced my confidence in my vocation, strengthened my simple faith brought from home and gave a meaning to 'my call'. Those different pastoral experiences have helped me to deepen my Religious vows and their true meaning as I was faced with concrete life-situations and struggles of the people. I truly believe that the experiences I gathered during my short stay there gave me a foretaste of the oblate ministry. My past eight years of Initial Formation in the Scholasticate was also truly a huge learning process especially of the messages of God coming to me from the various events of life.

Though it is easy to say and show readiness to work anywhere, when I was asked to go to Japan after 6 months of my priesthood, I wished I were there little longer serving the people of my own country. But making up my mind and with lots of enthusiasm I came to Japan on 15th March 2024. It has been one and half year since I came to Fukuoka. Since then I am studying Japanese while engaging myself in the pastoral activities of the parish at Koga. I began to experience a life of a missionary and it is a mixture of experience I suppose. It is not that easy to learn a language and culture. If the people can't understand what one tries to communicate, then the natural tendency is to get discouraged. It is also not only the language as such but the way I relate with the people that matters. (...continued)



オブレート会 スリランカ出身のサミット神父

集いの詳細は、各問合せ先に お尋ねください。

- 美野島司牧センター ホームレスの方に温かい食事と衣類
- ホームレス支援炊き出し
- 毎週火曜日10時
- 第2・第4金曜日
- 調理14時 夜回り21時

- 路上からアパートに入居した方を訪問 第2土曜日14時
- 問合せ先 ☎092・431・1419 ジョンソン・デソウ
- ザ神父
- 大濠カトリック会館・宣教養成センター
- ミーアサロン大濠
- 第1・第3水曜日10時
- 問合せ先 ☎092・753・6765 角田

- みことばのお弁当 第4木曜日10時
- 問合せ先 ☎092・753・6765 大濠カトリック会館
- 3月20日、肺がんのため帰天。享年99。誓願生活75年。
- スタニスラオ 夫津木 勇雄 修道士 (聖パウロ修道会)

討 報

教区報の1面を何度か力作で飾ってくださった、クラレチアン宣教会の司祭、宣教師、そして芸術家でもあったミノ(Maximino Cerezo Baredo)神父様が、2026年2月21日、スペイン・マドリッドのコレメナー・ピエホにあるクラレチアン

編集後記

ン・レジデンスで帰天されました。享年93でした。ミノ神父様は1932年8月4日、アストurias州ビジャビシオサにお生まれになり、1950年にクラレチアン宣教会に入会されました。筆と言葉、信仰と献身をもって、人々に捧げた長い人生の旅路を終えられたミノ神父様に、神様の御許での永遠の安息を、心からお祈りいたします。(W)



ミノ神父(クラレチアン宣教会)

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談 セクシュアル・ハラスメント相談窓口 電話 080-2694-4182 受付時間 月～金(祝日を除く) 10:00～12:00 13:00～16:00